

京交山岳部報

例会・行先	日程・集合	担当者	コース
第2205回★★★ ツアースキーを を楽しむ 北八ヶ岳方面	3月13日(土) ~14日(日)	山元 誠一 (内583)	13日 京都東IC-(名神・中央道)-諏訪IC-(ビーナスライン)-蓼科温泉(民宿泊) 14日 ピラタスロープウェイ-坪庭-双子池-双子山-大河原峠-竜源橋-往路帰洛
装 備 山スキー用具一式, サブザック, 行動食(14日用) 費 用 25,000円(宿泊場所によって変動あり) 備 考 13日 時間があれば北横岳に登りたいと思っています。 14日 天候によってはコースを変更します。			
平成10年度総会兼3月の集会 日 時 3月16日(火) 18:30 場 所 鳴滝寮		企画運営委員会 日 時 3月26日(金) 18:30 場 所 厚生会館 4F 大教室	



冬が暖かくなって久しいが、それでも寒波が襲来し大雪が降るときはやはりある。1月末から2月初めにかけてこの冬最大の寒波がやってきた。

1月30日に花背から雲取山に登ったが、ぶ厚く積もった新雪で道が消えてしまっていた。道を探すのとラッセルするので通常の3倍くらいの時間がかかった。こうしたときに読図の技術がものをいう。2万5千分の1の地形図で自分のいる正確な位置と目的地の方向を正確に把握することは極めて困難である。しかしわが山岳部にはそれを得意とするベテラン部員が多数いる。道もないヤブ山に登るにも読図は必要不可欠である。整備された道をもつ山に登り尽くしたベテランピークハンターは、ナタを片手に道なき山に挑戦する。その時に役立つのは読図の技術である。それは机上でいくら地図を見てもできることではない。豊富な経験と、微細な地形の変化を読み取る集中力を要求されるのである。自分の未熟さを思い知らされた雲取山行であったが、最近頼もしい味方が登場しつつある。それは人工衛星を使ったナビゲーションシステムである。自動車でのナビゲーションシステムはよく知られているところであるが、同じことを山の中でやるのは技術的に簡単なことである。携帯式の機械に地形図を組みこみ、人工衛星からの信号を受けて正確な位置を指し示す。こうすれば道に迷うこともないはずである。これに衛星電話を所持していれば世界中どこにいても大丈夫である。しかし、こうしたものを持って山に登るのは少し興ざめのような気がするが。

選挙の季節が近づいてきた。京都市議会も4月11日が投票である。東京では青島知事が立候補せず各政党は大混乱である。福祉と環境の大合唱だったのが、不況を反映して景気の回復が前面に出ているのが今回の特色か。山に行っていて投票できなかったということのないようにしたい。

(P.S) 1月号の山声雪語で、京都国体を平成5年と書きましたが、昭和63年の間違いでした。訂正をお願いします。

(H. 11. 2. 14. 記. S.I)

【第2201回例会】

雪と遊ぶシリーズ1 雲取山

山岡 昭弘

1月30日（日）晴れ。

京都バスは登山者たちを乗せて、定刻に発車した。

北山通を過ぎた辺りから、歩道にうっすらと積雪が、・・・。

バスは、途中、市原でチェーン装着のため停車、花背高原前には、約20分遅れて到着した。

バス停付近は、約20cmの積雪。スパッツ、アイゼン、etc、身仕度を整えて出発する。

久しぶりの雪の感触を楽しみながら、花背スキー場跡横を進み、杉林に入って行く。しばらく谷筋を進んで右手の山肌に取り付いて急登する。谷を右手に見ながら熊笹の小道を進んで、やっと寺山峠に到着し、小休止をする。

熊笹の小道を少し下って一ノ谷出合を右手に入って行く。時折折枝に乗った雪がパラパラと落ちてくる杉林の中を快適に進んでいく。一ノ谷に入ると雪が深くなって来る。積雪は40～50cmかな？

ここで、本日、第一回目の失敗！

谷の左手にある小さな目印を見落としてしまい、ハタカリ峠への谷に入ってしまった。始めは比較的良い谷道であったのだが、倒木が多くなり、ラッセルも困難になってくる。こんなはずはない。道を間違えたのではないか。今進んできた道を引き返すことにする。

途中、目印を発見！ やはり、道を間違えていた。約40分のロスである。

目印の道へと再度進んでいく。大きな谷に入り、谷の右手の杉の植林帯の中を進んでいく。やがて杉が熊笹にかわり、谷を登りきると、なだらかな雲取峠に到着した。予定より約1時間の遅れである。

中休止の後、雲取山山頂で遅めの昼食とするため、出発する。

そして、本日、第二回目の失敗！！

杉の植林帯入口で左の山肌に取り付いて、雲取山手前のピークを登ってしまった。地図上では、雲取峠から二つ目のピークが雲取山なのだが、一つ目のピークを過ぎても次のピークが見えず、間違いに気が付き、雲取峠まで引き返す。またまた、約30分のロス。

時計を見ると12時45分を過ぎていたので、雲取峠で昼食とする。

昼食の後、気を取り直して出発、杉の植林帯の中に入って行く。先程間違えて登ったピークの腹を巻くように進み、鞍部から登り返し、やっと、雲取山頂上に到着した。

途中で昼食休憩が入ったため、予定より約2時間の遅れである。

頂上は木に囲まれていて展望はない。積雪は思ったほど多くはなく、三角点が顔をのぞかせて

いた。三角点といっしょに記念撮影をし、予定通り三ノ谷を降りることにする。

急斜面も雪があれば歩きやすい。アイゼンを引っかけないように下っていく。やがて斜面も緩やかになり、朝に通った一ノ谷のような杉林となる。

三ノ谷の流れを何度か渡り返し、三ノ谷出合に到着、ここから、林道歩きとなる。なだらかな林道を進むこと約30分。勢竜天満宮を過ぎ、芹生に到着し、小休止する。

時計は午後3時過ぎ。予定通り花背峠を越えたのでは遅くなってしまうため、芹生峠を越えて、叡山電鉄貴船口駅まで歩くことにする。

アスファルト舗装された林道を雪で滑らないように注意しながら進む。芹生峠を越えて、静かな貴船に到着すると、午後5時前であった。

一年ぶりに、雪とじゅうぶんに遊べた一日であった。

【コースタイム】

花背高原前バス停 (9:30～9:50) → 花背スキー場跡 (10:00) → 寺山峠 (10:40～10:45)
→ 一ノ谷出合 (10:50) → 雲取峠 (12:10～12:20, 12:45～13:35) →
雲取山 (14:05～14:10) → 三ノ谷出合 (14:45) → 芹生 (15:10～15:25) →
貴船神社 (16:40)

【参加者】 鷺見敏一、鷺見壽末子、井戸澄夫、山岡昭弘、他4名

【第2203回例会】

雪山を楽しむ 武奈ヶ岳

山元 誠一

雪山を楽しむためにこの時期、毎年のように武奈ヶ岳に登っている。一つは中峠付近のブナ林の美しい樹氷と武奈の頂上からの雪景色を楽しむために。それともう一つの目的は、その年の自分自身の体力がどの程度かを推し量るために。(イン谷出合から金糞峠を経て中岳から武奈ヶ岳へのコースを概ね3時間30分で踏破できれば良好、さて今年は。)

当初予定の11日が雨のため14日に延期し好天を期待したものの、気圧配置は冬型のままで湖西地方は雪が降り続いていた。

イン谷口に車を駐車し、スパッツを付けて登りだす。朝の新聞報道にあった遭難者の捜索のためか警察の車両が数台リフト乗り場の方へ向かって行った。ここ数日の雪のため登り口付近で早

くも70cm程度の積雪。それにしても多くの中高年の登山者が正面谷から登っていかれる。しかし、これだけたくさんの人であればラッセルの心配はないものとひと安心。我々も多くの登山者を追いかけるように歩を進める。上空は雲におおわれ雪は中断なく降り続く。途中アイゼンを付け、青ガレで休息。青ガレから金糞峠までは一気の厳しい登りである。雪の重みで目の前で直径10cm以上の木が折れたのに驚かされたり、木々からの予期せぬ雪の落下を浴び雪まみれになったり、雪の深みにはまりこんではい上がるのに苦労したりと、十分雪を楽しむ(?)ことができた。

金糞峠は、一杯の人だったので、中峠の方へさらに進むことにする。中峠側に少し進んだ所ですれ違った人に聞くと、中峠への道はラッセルされていないとのこと。我々も仕方なく、もと来た道に戻り八雲ヶ原に向かうことにする。八雲ヶ原への道は平坦な道だが、雪のため木々の下をくぐったり、上を乗り越えたりと手こずらされた。金糞峠から1時間余りで八雲ヶ原のヒュッテに到着した。そこで昼食とする、本日のメニューは「炊き込みうどん」と方山さん持参の「うなぎの姿寿司」。

昼食後、岡田さんが持参された「スノーシュー」を試すことになる。やはり、「ワカン」より優れたもので、そう沈むことなく、足をあげるのも軽かったが、問題は値段であろうか。

岡田さんが「足の状態が良くない」とのことであり、武奈ヶ岳には向かわず、北比良峠から下ることとする。

北比良峠から少し下った所では、単独行のご婦人が、「道を誤って胸まで雪に埋まってしまった」と少しおびえながらおっしゃっていた。ダケ道は雪がなければ歩きにくいところであるが、雪のお陰で歩きやすくなっていた。大山口に出ると雪もようやく上がり、上空には青空が、そして、前方には琵琶湖と対岸の白い山々の夕景が広がっていた。とても穏やかな風景で、最後の最後に山での「至福のひとつき」を味わうことができた。

【参加者】 岡田茂久、井戸澄夫、方山宗子、山元誠一

【コースタイム】

壬生(7:30) → 湖西道路 → イン谷出合(8:20~8:50) → 青ガレ(10:50~11:00) →
金糞峠(11:40) → 八雲ヶ原昼食(12:40~14:20) → 北比良峠(14:50~15:00) →
大山口(16:00~16:10) → イン谷口(16:30着) → 壬生(18:30)

【個人山行】

舍 羅 林 山

伊 藤 潤 治

舍羅を娑羅と解し、ナツツバキの林を想像したが、娑羅はないと言われた。それでは山号はと問うたがこれも外れた。

標高264.5mでも倒木るいり、サルトリイバラがはびこり、藪かと思うとすんなり歩ける落葉樹林のきれいな小道や、アヅキ転がしの険崖もあり、油断のならぬ山里である。

山頂も露岩が乱立を呈し、また南方の巨大な岩塊には八廣山五社大神の鎮座があるのも奇観であった。さらに南辺路傍の二体の石仏は心なごませてもらった。

舍羅林山の舍羅とは、仏舎の並ぶ意味かも知れない。お志茂さんのガイドで歩いた。

【個人山行】

渥美半島，東三河の一等三角点

三 橋 勉

初日の出を拝もうと、前夜だちで出掛けて白山比咩神社の鳥居をくぐって、ジグザグに登って行く。頂上には電波塔があり、左の小高い丘に三角点があった。遠州灘の水平線方向にご来光を待ったが、残念ながら雲が出てきたため拝めなかった。

次に豊橋大知波線の多米峠トンネルを越えた所で、左手から取り付き、多米峠へ登ると浜名湖が見えた。尾根を南下すると雨宿りができるほどの巨岩があり急登すると神石山に出た。帰りに名神の雪で大垣でおろされ、桑名から1号線経由で帰った。

例会報告

例会 No.	目的地	月日	天候	担当者	参加者	備考
2200	野沢温泉スキー	1月13日 ～16日		大倉寛治郎	三橋 勉 他13名	(次号報告)
2201	雪と遊ぶ シリーズ1 雲取山	1月30日	晴	山岡 昭弘	鷺見 敏一 鷺見壽末子 井戸 澄夫 他4名	(別稿詳報)
2202	弥栄町の最高点 ヨシナミ岳	2月5日		三橋 勉		大雪のため、中止しました。
2203	比良 武奈ヶ岳	2月14日	雪	山元 誠一	岡田 茂久 井戸 澄夫 方山 宗子	日程を変更しました。 2/11→2/14 (別稿詳報)

部員動静

目的地	月日	天候	参加者	記 事
舍羅林山	1月6日		伊藤 潤治	(別稿詳報)
渥美半島と東三河 の一等三角点	1月9日	曇	三橋 勉 伊藤 潤治 河村 清	(別稿詳報)
上醍醐から 石山寺へ	1月25日	雨 のち 曇	鷺見 敏一 鷺見壽末子	小雨であったが、午後から天候も回復すると信じて、醍醐三宝院を出発する。午後雨は止まず、准胝観音堂の軒先を借りて昼食を済ませ、石山寺まで歩く、少々歩きがいのあるコースであった。
湖南アルプス 太神山 矢筈ヶ岳 笹間ヶ岳	2月6日	晴 時々 小雪	鷺見 敏一 鷺見壽末子	昨日の雪が程よくコースに残っており、ツボ足の靴音がキュウキュウと鳴り、他の登山者がいない好天の貸切登山道を十分に楽しめた山行であった。

雑 報

△△△ 2月の集会

日 時 2月10日(水)
場 所 厚生会館 4階 大教室
出席者 (本局) 大槻, 井戸, 山元, 方山 (高速) 大倉 (梅津) 吉田
(市役所) 竹田 (OB) 坂井, 三橋, 渡辺, 鷺見, 岡田
以上12名
内 容 例会報告ほか

△△△ 1月の企画運営委員会

日 時 1月20日(水)
場 所 厚生会館 4F 大教室
出席者 井戸, 吉田, 大倉, 三橋, 山岡, 馬淵
内 容 例会予定, 50周年記念事業関係, 平成10年度京交山岳部総会関係,
岳連関係報告ほか

△△△ 他山岳会の会報(受贈分)

1月号 京都山岳, 木雞, 青嶺, 一等三角点, わっぱ
2月号 京都山岳, 趣味の登山, 木雞, 青嶺, 北山, 近畿山行, 熊笹だより

△△△ お知らせ

平成10年度京交山岳部総会兼3月集会を下記のとおり行います。ふるってご参加下さい。なお、準備の都合上、参加される方は、必ず、担当までご連絡下さい。

日 時 平成11年3月16日(火) 18:30より
場 所 鳴滝寮
費 用 1,000円(当日徴収します)
担 当 事務局 井戸(内810, 外822-9181)
馬淵(内548, 外822-9118)
締 切 平成11年3月10日(水)

日山協山岳遭難共済平成11年度第一次募集を下記のとおり行う予定です。

保険期間 平成11年4月1日～平成12年3月31日
 保 険 料 別表の種類がありますので、選択してください。
 申 込 先 事務局 井戸（内810，外822－9181）
 締 切 平成11年3月16日（火）

[円]

	一 般 共 済				ス ー パ ー 共 済				中 高 年 ハイカー 特別共済
	A	A1	A2	A3	B	B1	B2	B3	
死亡・後遺障害	150万	150万	150万	150万	200万	200万	200万	200万	150万
入院保険金日額			2,000	2,000			2,000	2,000	
通院保険金日額			1,000	1,000			1,000	1,000	
遭難捜索費用	150万	150万	150万	150万	200万	200万	200万	200万	100万
個人賠償責任		1億		1億		1億		1億	
保 険 料	5,580	6,240	10,830	11,490	7,440	8,100	12,690	13,350	3,000

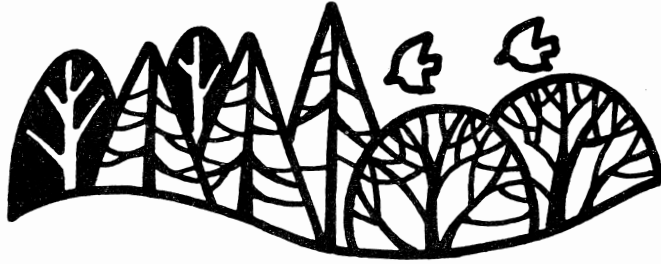
京都府山岳連盟自然保護委員会主催の観察会が下記のとおり行われる予定ですのでご案内します。

日 時 平成11年3月28日（日）
 場 所 京都市左京区・大津市（大文字山で、地形・岩石・鉱物を観察する。）
 集 合 午前9時 浄土寺橋（白川通今出川交差点）東詰
 （市バス「銀閣寺道」停留所下車すぐ）
 参 加 費 1,000円（資料，障害保険，拝観料含む。子供も同額。）
 コ ー ス 銀閣寺道 → 大文字送り火火床 → 大文字山頂上 → 池ノ地藏 →
 五別所 → 三井寺 → 京阪浜大津駅 [徒歩約8km]
 服 装 半袖Tシャツ，長袖シャツ，上着，長ズボン，帽子，登山靴
 持 ち 物 昼食，水筒，雨具，タオル，ビニールシート，軍手，ルーペ，
 サングラス，防寒衣類（あればハンマー，たがねも）
 申 込 先 〒606-8332 京都市左京区岡崎東天王町6
 大 杉 喬 (☎075-761-4756)

申込方法 申込先まで往復はがきで申し込んでください。はがきには、往信部に、
「3月28日自然観察会」申込み
住所、氏名、年齢、電話番号、所属山岳会
返信部に、
住所、氏名
を書いてください。はがきは、1世帯1枚とします。

締 切 平成11年3月23日（火）

備 考 先着50名で受付締め切ります。



家庭用品 } 総合卸商社
衛生用品 }

日華商事株式会社

本店 京都市南区上鳥羽大物町13番地
☎ 601-8121 電話 (075)672-6101(代)
FAX (075)661-7332

八坂運送有限会社

京都市伏見区醍醐新町裏町24番地の4
TEL (075) 571-1108

帆布・濾布
テント・シート
雨合羽

木村工業有限会社

京都市中京区ミブ車庫前
TEL 801-5331 (代)
西大路営業所
下京区西大路七条下ル
TEL 321-0251

登山とアウトドア専門店

今、アウトドア派大集合!!

- 登山用品はもちろん、
注目のスポーツ
カヌーをはじめ、
ひと味違う充実の
品揃えは必見のもの!!



株式会社 **ロッジ**
LODGE

営業時間 AM10:00~PM9:00 (年中無休)
京都市中京区御池通高倉西入(千代田生命京都御池ビル2F)
TEL. 075 (222) 0363 FAX. 075 (223) 5256

京都で唯一の山の専門店

Now Out door sports

ハイキング&キャンプ&クライミング
アウトドアウェア・USA出品
ポータブル用品

Mountain

〒604-0931 京都市中京区二条通河原町西入
TEL 075(258)-0548
営業時間 AM10:00 - PM8:00 毎週火曜定休
（株）スポーツユニオン

よし、ずい、のそ
葦の髄から天井を覗く…… ④3

一月三十日、何年振りかの大雪に見舞われた新潟市に会議で行った。会場の○
○ホテルが分らず、JR新潟駅前の横断歩道で「○○ホテルはどこやろ」と独り言を言っていると横にいた若い女性が、親切にも道案内をしてくれた。大都市ではあり得ないことである。「頼まれれば越後からでも米搗きに」、越後のひとの人情は活きていた、「越乃寒梅」「笹団子」以上の土産を貰って帰洛した。

制作 ㈱北斗プリント社
〇七五―七九一―六一二五
(文責 波多野茂男)

建設省国土地理院発行地図販売特約代理店
国土地理院空中写真（カラー・白黒）取次
通産省地質調査所発行各種地質図取扱店
各種地図製作並びに印刷
地形図は、5万・2万5千とも全国を常備しております。

 小林地図専門店

株式会社 **小林地図専門店**

〒600-8174 京都市下京区烏丸通上珠数屋町東入る（3軒目北側）
☎(075) 351 - 6598(代)

地下鉄：五条駅 5番出口・市バス：烏丸六条下車

結婚引出物・内祝・開店記念品・粗品
仏事用お返し品・お中元・お歳暮用品

贈答品総合センター

厚生会指定

サンコークラフト

西島輝雄

左・川端丸太町下る下堤町88
TEL (075) 771-3442

平成11年3月1日

京都市中京区壬生坊城町48

京都市交通局内

京交山岳部